

令和元年度 第2回 会津図書館協議会 議事録

日 時：令和2年3月27日（金）13：30～15：00

場 所：生涯学習総合センター3階 研修室5・6

出席者：委 員 9名出席

事務局 6名出席（生涯学習センター所長、会津図書館長、副主幹2名、主任主査
主任主事）

1 あいさつ

会津図書館長

会津図書館協議会委員長

2 議 事(委員長を議長とし、進行)

(1) 令和元年度事業実施状況(下半期)について

※事務局よりパワーポイントを使用しながら報告

<質疑応答>

委 員：各コーナーごとに分けられていて、非常に見やすい。展示を見られなくて残念だった。

議 長：非常にいい展示がされているということだが、その他いかがか。

委 員：子どもたちは読み聞かせが大好きなので、1回でも2回でも実施して欲しい。

学校の活動も制限されており、週末の時間を、何か活用できるような場があれば良い。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)3月4日から休校になり、その前に学校図書室の図書をたくさん借りてもらった。危機的な場面だが、逆に本を読むという意味では、チャンスになれば非常に嬉しい。

委 員：私どもの会(朗読劇サークル)は、会津図書館の事業に関わっていない。できることがあれば、入れて欲しい。

議 長：次年度に参加できるような機会があれば、ということか。

委 員：ブックスタート事業と赤ちゃんおはなし会の参加親子数が昨年度より増えており、とてもいい傾向だ。(子どもたち、保護者に)保育園の本を貸出しており、(会津図書館の)イベントのチラシも配布している。

議 長：ブックスタート事業について、実施回数が17回、平成31年(令和元)年度が33回ということか。

事務局：実施回数17回というのは、下半期の実施回数である。今年度は33回実施し、参加親子数は、下半期が412組だった。

議 長：後半(下半期)の方がたくさん集まるのか。

事務局：ブックスタート事業は4か月児健診の際、主に北会津と河東の保健センターで実施している。

受診する子どもは、年間で1,000人程いたが、最近900人を割っている。(参加親子数は)減っているが、ブックスタート事業は続けたい。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ブックスタート事業の際の読み聞かせが3月に入り中止となり、本を渡すだけになった。委員からお話があったが、本を読む機会を少しでも設けたい。三課(健康増進課、こども家庭課、生涯学習総合センター)で協議し、4月も本を渡すだけになる。何らかの形で再開を目指したいが、新型コロナウイルスがいつ沈静化するかわからないので、その辺は見極めていきたい。

議 長：(本を読む)大事な機会なので、ぜひ続けて欲しい。

委 員：ブックスタート事業について、私も1歳半の子どもがおり、4か月児健診の時に本をもらったが、上の子の時は無かった。5冊から好きな本を実際その場で読んでもらい、本をもらえるのはありがたい。(年齢が)小さすぎると、どんな本を読んだらいいのか、悩む保護者も多いので、ぜひ続けて欲しい。可能であれば、1歳半健診の際に年齢に応じた少しステップアップした本を、紹介程度でも結構だが、いただけるとありがたい。

企画展示について、令和2年2月より、「市政情報コーナー」「がん情報ギフトコーナー」「ピックアップコーナー」を設置した経緯は何か。

事務局：昨年12月に、「市政だより」で会津のお酒について、今年の1月に健康づくりについて特集があり、関連図書を集め、ミニ展示コーナーを設けたところ、とても好評だった。市の情報を、図書館で発信したいという思いから設けた。ICT関連図書についても、市の推進事業を図書館

でPRするために展示している。

がん情報ギフトコーナーは、福島県内、全国の図書館でも行っている。がん情報についての説明のパンフレット等を(国立がん研究センター)より頂戴し、配布・館内閲覧をしている。こちらにも、利用者に広く情報を発信するために始めた。

議長:「市政情報コーナー」で「会津大学・短大で学ぼう」を展示してもらい、ありがたい。

(2) 令和2年度当初予算について、(3) 令和2年度事業実施計画(案)について

※事務局より説明

<質疑応答>

委員:延期になったオリンピックに関連する事業を行う予定はあるか。

事務局:オリンピックに向けて、7月、8月あたりに、一般図書フロアとこどもとしょかんで関連図書の展示を予定していたが、見直しを検討している。

委員:期待している。

議長:どうしようもない状況での中止だが、中止の場合の活動等は、検討しているのか。

事務局:今回示された3つの条件、密集、密閉、密接という条件がある。おはなし会の利用対象者は、赤ちゃんを含めた子どもで、密接する場面が生じる。人が集まると、密接どころではなくて、密集となる。今のところ代替案の決め手が無く、終息されることを願っている。

委員:読み聞かせだけでなく、既に取り組んでいる家読に力を入れるのも一つの方法ではないか。

事務局:家読については、お知らせを作り、小学校に配布して、本の紹介等を行っている。ブックスタート事業でも、(配布する)5冊以外の本以外も紹介している。また、幼稚園や保育所から、おすすめの本について情報提供している。雑誌(『会津嶺』)にも、図書館だよりを掲載している。図書館利用や、読書活動を推進してもらえる取り組みを今後も続けたい。

委員:読み聞かせから一人読みをするのが、小学生の子どもの中で課題だ。今回の新型コロナウイルス(による自粛)はまたとないチャンスで、読み聞かせができないというのを逆にとり、家で読んでもらい、そして一人で読むという流れも、一つの道かと思う。

事務局:こどもとしょかんで、「はじめよう家読」という昔話絵本のミニ展示を行っている。会津図書館では、年に1度「家読のススメ」を発行している。過去には、詩の本や友達に関する本等を紹介しており、展示コーナーで、最新号とこれまで発行したものも併せて配布している。「家読のススメ」を手にとって、これを機会に昔話以外にも、様々な本を読んでもらえるよう広報している。今までに発行した「家読のススメ」は、会津図書館ホームページにも掲載している。家読に取り組んで欲しい。

議長:様々な活動をできない中で、できる活動に力を入れてくださり、ありがたい。

委員:会津ビブリオバトルの開催により、読書する層が広がると期待していたが、去年は高校生の参加が1校だけで、中学生の参加する層が無くなったと感じる。参加する層を増やして欲しい。

事務局:以前報告したが、(開催した)9月は、テスト期間の前後で、中体連や新人戦が開催され、中学生はかなり忙しい。各学校に開催の通知を出したり、何校かに訪問し、参加を呼び掛けた。今年度は、スポーツ大会等が重ならない時期を確認して、多くの方が参加できるように設定したが、再度検討する。非常にいい事業なので、今後も進めていきたい。

委員:期待している。

(4) 子ども読書活動推進計画について

委員:毎月園だよりを発行しており、年齢に合う絵本等を薦めている。図書の新刊情報があまり入ってこないのので、保育施設等への提供をお願いしたい。

議長:先程の(説明の中の)指標であったところの、おたよりによる読書活動の啓発等の活動に使えるということか。

委員:そのとおり。話題の絵本とか、様々情報はあがるが、図書館からの情報があると助かる。

議長:事務局どうか。

事務局:会津図書館で所蔵している新刊の情報を提供して欲しい、ということか。それとも出版情報か。

委員:幼児向けの新刊が、図書館に入ったという案内があれば、おたよりの中にも組み込み、図書館の利用も進められる。また、園で図書を購入する際に活用したい。

事務局:おたより発行や読書活動の助けになるのであれば、検討していく。

委員:図書館で小学校1・2年、3・4年、5・6年向けのおすすめの本リストがあり、とても便利だ。

たくさん出版されている本から選ぶのは大変で、本当に役立っている。ぜひ続けて欲しい。

議長:会津図書館で学校図書館ボランティアの養成をしているということだが、中学校の図書館ボランティアはどのような活動をしているのか。

事務局:中学校のボランティアは、本の整備、新刊図書にブックコートフィルムをかけたり、本の修理、排架作業がある。読み聞かせもあるかもしれないが、本の整備が主ではないか。

委員:若松第二中学校で、図書館ボランティアをしている。若松二中では図書の除籍作業は、ほぼ完了しているが、除籍作業を担当の先生が一人で行うのはとても大変なので、そのお手伝いをしている。除籍図書の決定は学校で行い、(除籍した)本を運ぶ等の作業をしている。定期的に行うのは、書棚の本をすべて出して、1冊ずつ磨く棚掃除だ。風を通さないと、ほこりがかぶり、本が傷む。司書教諭の先生は授業があるし、学校図書館支援員は週1回なので、人出が足りない。力仕事や、担当教諭では手の届かないところで、活動をしている。学校からの依頼で行っており、できることをすり合わせながら活動している。

議長:各学校には、司書のような職員がいないから、中々大変な運営になると思う。(学校図書館ボランティアを)もう少し育成して活動して欲しい。全部の中学校に(学校図書館ボランティアが)欲しいということか。市内の中学校11校の内、ボランティアが活動するのが6校では少ない。

委員:ボランティアでは、できることに限界がある。学校図書館支援員が、もう少し毎日学校に来てもらえると、子どもたちと直接関わったり、もう少し授業に入ったとか、現在行っていること以上の活動ができるのではないか。少しずつでも、そういう方向に向けばいい。ボランティアも、できることを少しずつお手伝いしている。保育所、幼稚園もそうだが、小・中学校の子ども達にとって、図書はとても大事なものだが、そういう大事な分野に専門の先生等が足りていない。その中で教員の方々が色々対応しているが、限界がある。選書や子ども達に(本を)薦めるにしても、そういうところに人的な力があるといい。

事務局:学校図書館との連携を密にするため、会津図書館奉仕員が学校訪問し、ブックコートフィルムのかけ方や本の修理、排架、本の見せ方等をお話している。

今年度は、重点的に学校図書館の整備をするため、小学校2校への訪問回数を増やしている。学校図書館支援員については、学校教育課で来年度1名増員するが、(委員の)お話を伺うと、まだまだ人が足りない。学校図書館支援員が担当教諭となかなか相談できないことから、月1回学校図書館支援員と会津図書館奉仕員が連絡会を行い、情報共有や相談等をしたい。子ども達が利用しやすい図書館にしたい。

委員:毎年7月に図書館担当の教員が集まり、研修会を行う。今年度は、学校図書館と会津図書館を繋げたい、先生と会津図書館司書との距離を縮めたいという思いから、会津図書館と各学校の取り組みを紹介し、情報交換を行った。学校と図書館のつながりが、これから深まっていけばいい。

議長:会津図書館の役割が、かなり広くあることを再認識した。

(5) その他(館内での水分補給について)

議長:周知後に、試行的に実施し、検討していくということか。内容としては、学習スペースで飲むということか。

事務局:現在、学習スペースにはこどもとしょかん側から入るが、エスカレーターを上がってすぐ脇のドアから直接入る動線を検討している。以前、委員からご指摘があったとおり、変更する場合、貸出カウンターでの貸出手続きが必要だ。

議長:事務局案でやってもらい、その後検討ということでしょうか。

委員:いいと思う。

事務局:それでは、ご意見もないようなので、その他何かありましたら、発言をお願いしたい。

(本日の議題はすべて了承)

3 その他

4 閉会